

パソコンの使い方を学べるコーナー



若者の就職を支援するNPO法人ICDS（南知多町）の臨時施設「若者おいでんクラブ」が、岡崎市吹矢町のビルで開かれている。就職が決まっていない大学生や「ニート」と呼ばれる無職の若者たちの相談に無料で応じる。平日午前9時半～午後6時半で、3月末まで。（中野祐紀）

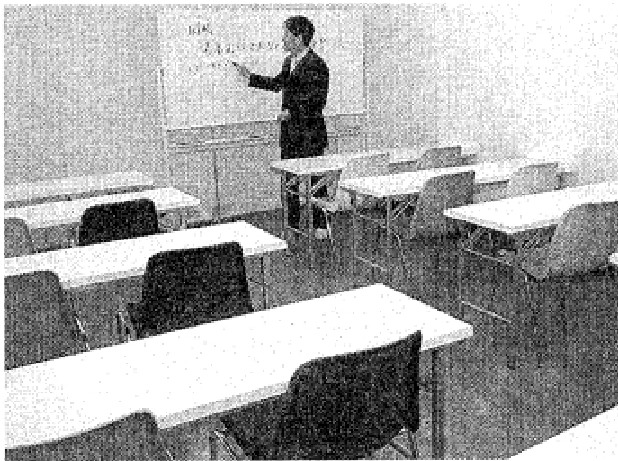
無料で相談「気軽に足を」

ICDSの深谷潤一理事長らが「秘密作戦会議」と称する個別面談で就職活動の手法をアドバイスしたり、ビジネススマナーと社会常識を学ぶ集中講座を開いたりする。面接に臨む心構えや、履歴書の書き方も指導し、個々の「就活力」を高める狙いだ。
約九十平方メートルのスペースには、コンピュータ知識を学習するためのパソコン六台と、二十人が同時に講座を受けられる教室、個人面談用室などがある。

岡崎で南知多のNPO法人

若者の就活支援

履歴書の書き方や面接指導



20人が講座を受けられる教室。いずれも岡崎市の若者おいでんクラブで

基本的に、電話で予約してもらう。
ICDSによると、三月に卒業を控えた県内の大学四年生の就職内定率は現在、七割前クラブで検索。轉問後、深谷理事長は「思い詰めてうつ状態にな（83）7303

ったり、一人でもんもんとしたりするよりは、まず足を運んで。ヒントを得れば、就活成功に結び付く」と話している。

クラブ運営は、岡崎市の緊急雇用創出事業。委託を受けたICDSが雇用した三人